

刊夕日五十二月九



定価 一冊全五銭 一月五拾五銭 半年二圓二角 一年四圓二角
 発行所 常磐五日新聞社 東京市本町一丁目
 電話 六三〇
 印刷所 常磐五日新聞印刷株式会社 東京市本町一丁目
 電話 六三〇

裏から見た廣告

小野 英哲

私は此の頃、暇にあかして廣告の研究をやつてゐるが、と云つても新聞とか雑誌等に掲載されてゐる圖案とか文章に限られてゐる。極めて範圍の狭いものであるが日々次々と興味を引くものが發見され、又一入微笑むことがあつて面白く續けてゐるわけである。

廣告であるから、讀まれない廣告、見られない廣告は完全に落第となるだからどの廣告を見ても如何にして最後まで讀ますか、如何にして信用させるか、非常に苦心を拂つてゐる。そこに讀ますことに成功した廣告が信用を得ることに失敗して廣告なども見受けられることがある。廣告としては失敗であるが、この讀ますことに成功すると半ば廣告の使命は達するものである。衆愚は坦々として述べられた文章に幻惑されて盛られやインテキ性を發見することが出来ないからである。で

〆〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〆
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〆

- 【朝】味噌汁 大根菜 馬鈴薯 白煮
- 【晝】ポークライス とうもろこしの清汁
- 【晩】かにのり巻 マカロニ入 野菜スープ

は兎に角も、新聞とか雑誌等の廣告も大部分は化粧品類、藥品等が占めてゐる賑かなものである。廣告の持つ使命は、宣傳しようとするものを如何にして價值づけ、如何にして市場位置を強固ならしめるかにある。それだけに廣告の役割は重大義を持つてゐるわけで、大衆の視線を一点に集結させる。その一点が

私はこゝで短時日のうちに發見した巧妙なインテキ性を語つて見たいと思ふ。題して裏から見た廣告。讀ますことに成功してゐる廣告で、注意して良く讀むと唯の一行の爲めにインテキを暴露してゐる例として、多く見受ける賣藥の廣告で

あるが、淋病とか梅毒とかさうした種類の廣告に多いのである。例へば梅毒の治療法としては専門家が吾々素人も六〇六注射が第一位であることは認めてゐる。そして今の醫學ではそれ以外と云つても過言で無い様に他の効果の有る治療法はまづないと云つて差支ないのである。さうした一般識化してゐる梅毒療法の強敵を向ふにして、〇〇丸とか××錠とか日々廣告が出てゐるが、廣告を讀むと(斷つて置くが決して私は梅毒に犯されてゐるのではないのです)梅毒の身體に及ぼす害毒を懇切に説明されて其の驅梅方法を説いてゐる。如何にも効きそうである。だが營業者も多少の良心的な處があるのか、此の〇〇丸は六〇六注射と併用すれば尙一層の効果が短時日のうちに現ると書いてある。

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 自由の讀める 川崎巡迴文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

「冬の通學服賣出」

中學生用 六号 四四〇〇
 國防色 七号 四四二〇
 黒小倉服 A六号 三三〇〇ヨリ
 特A六号 三三〇八〇ヨリ
 別注文 國防色 五五〇〇均一
 特A黒小倉 六四二〇均一

平町 店服洋やかふ 三三〇二電

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目

不味寛 電話一四一番

子宮病根切藥 宮温湯

暑い、と薄着してゐる間に腰がだん／＼冷えるお方ありませんか。左様な方は子宮温湯を飲めば、冷え性の方、子宮のほしい方、子宮の悪い方、月經時に痛みを覺える人、なが血、白血でお困りの方は是非御試下さい。

平町古銀治町一〇縣社の下

蝶印藥 一手販賣 阿康藥局 電話 四六番 振替口座東京三〇三番

店主が店員を連れて行かれない食堂

正シイ喫茶 正シイ酒場

平・田町 ラストサロン 電三五二番

産科 婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九 病室完備 入院隨意 木村病院 電話一六四番

石炭一〇〇パーセント

サーヴキス

時節柄 値下げ!

特等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢

一等塊 同 金參拾五錢

品質が優良 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局 目方が正確

此の点は當店を絶対に御信用願ひます。市内は一俵より配達致します。

電話 三三七番

阿部石炭商店

最後の審判 意外の狂番は 興味は開票に

今日ぞ郡内八候補が必死の二旬にわたる血みどろの奮戦に最後の審判の日——朝來降りしきる大雨を突いて平地方は一齊に梵鐘サイレンが肅正下の投票警告を厳肅にし「肅正選挙」の大文字を天空に火花はさく裂する。たい風を含む生暖かい街頭——今や人事を盡して天命を待つ各候補の心中は從來の如く戦績を豫断すべき手段もなく果して政民何れか絶対多数を獲得して既政政の磐石を誇るか？肅正選挙の特異性が養正會のたい頭を許して意外の番狂はせを招致するか興味は開票の結果に懸けられてゐる

一票報告の熱意

陸続とアを衝く

午前中早くも半数以上

平町の投票場

平町四千の有権者が一票報國を決行する本廿五日の平町投票場には降りしきる豪雨を衝いて午前二時の一審に町議吉田寅之助さんが赤札を持って駆けつけたのに続いて紫札の舊城跡柴田長之助さん、赤札の長橋町高子敬藏さんの順で續々押寄せ午前七時の開場迄には高根澤松三郎、藁谷四郎、鈴木勝彌、石山隈雄、高崎清明、山田文一諸氏の熱心な有権者が

小止みとなり勢ひを得た投票者は續々繰り出して午前九時迄に五百四十六名、正午現在で二千二百四十一名に達しこの分では棄権率は少なからうと平町に於ける肅正

宣傳の、本家青沼町長以下の係員を喜ばしたがる権者の總意をこめたこの玉手箱は明廿六日午前八時から平第三小學校で開票される各候補者の總決算が行はれる筈である

言論戦は

蓮沼派が最高

入り亂れた演説會の壯觀

本年の縣議戦に乗り出した内八候補者は徹底した肅正觀念と取締法嚴行の爲め、文書戦及び演説會に主力を

傾注して苦闘したが殊に平署管内各町村は郡下主要地にだけに各候補の演説戦入れ亂れ非常な壯觀を呈し回数

と内容に亘たが八候補者の同管内に於ける演説會數を見るに左の如くである
蓮沼派廿二回 草野 齊
赤津派四回

當落の境目

何票で決す？

肅正下初の總決算！幾票を確得すれば當選圏内に入る？政戦の戈を納めた候補者は勿論郡下四萬餘の有権者と共に一般の大きな興味はこゝに注がれるそこで絶対得票豫知を許さぬ混沌の郡下情勢から穿き違いられた肅正觀から大體棄権を三割五分と見て差引いた残り七割五分を八名の立候補で割ると平均票數三千八百四十票でこの平均票數が當落の境目になりこれ以上を獲得すれば當選の榮譽を荷へる勘定であるが何しろ落選は二名だけであるから落選者の獲票が意外に少なければ平均票以下でも當選圏内に入る譯である

石城梨出荷

輸送列車特發

石城地方の梨は愈々出荷期となつたので水戸運輸事務所は管内梨の特別輸送を行ふことになり平發午後六時四十分が秋葉原着翌日午前四時平發午後七時卅分が兩國着翌日午前七時その他は何れも二日目の朝國館市場は三日目の朝到着する由

山間部農村に

國有林を開放

冷害に營林署の對策

既報の如く郡内山間部の冷害凶作は昨年以上に被害甚大で或は全滅の外なく二ヶ年繼續の凶作に極度に疲弊し是が急速な救済のため早くも平營林署では冬期前

と協議を進めてゐるので近く實現されるものと思はれる

平町小學事務 平町各小學校事務協議會は廿五日午十一時より平第一小學校で開かれた

振興會の

松岡男爵

視察に來郡

東北振興會委員長、日本學術振興會理事の松岡均男爵は來月十一月來郡小名濱江名兩漁業組合及び川邊村等で産業及び教育施設の視察を行ふ

好問教育協議 好問

尋常高等小學校では來る廿七日午前八時より教育事務協議會を開き緩方、體操科の研究教授及び右批評會を催す由

平町人事

回出生

△鎌田町當時東京市向島區吾妻町東三丁目門脇長次郎氏三男眞
△三丁目二 小島彌三郎氏次男徹二
△雙葉郡久之濱町字中町遠藤豊氏(二五)古鍛冶町寺田ヨシ子(二四)さん
△死 亡
△番匠町 當時東京市本郷區駒込林町堀江正直(八五)さん

内科科一般

金成醫院

金成 忠 義
平鎌田町(電三五八)

耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

山内醫院

醫學士山内 亨 吉

株式賣買

合資三共商事

大町 電話三六〇番

道が崩れて

投票に行けな

各河川は増水氾濫

昨日來の豪雨

九州方面を荒した低気壓は、昨日午後四時頃から太宰府を通過したため石城、午後五時頃より篠突く豪雨に見舞われ各河川みるく増水同夜九時頃小名濱字米野地内縣道の斷崖約五十坪が崩壊して交通杜絶した外今朝六時平町杉澤地内縣道も同く崖二十餘坪が崩壊し更らに箕輪、好間兩村々境の縣道も二十餘坪崩壊投票日の交通杜絶とあつた

土木監督所は急遽金所員を動員して復舊作業に努めて居るが一方郡内各河川は雨上りの午後七時頃より氾濫し初め内郷村白水川の出水は同村大字綴字一ノ坪部落四十戸が床下浸水八寸に及び午前八時現在監督所への報告に依ると鮫川十五尺、夏井川好間川各十六尺、新川八尺小玉川七尺の増水を見て居る

半ヶ月分の雨量

一夜に降る

稲穂は倒れて

果樹類も落つ

降雨續きの揚句にやつて來た昨日四日より今朝にかけての雨量を神谷農事試験分場で調査したのに依ると廿四日午前十時から本日午前十時迄に九十六ミリ三分坪當り一石七斗六升二合で平均一ヶ月の雨量百五十ミリの半數以上を一晝夜に降り盡した猛烈さに稲穂の倒れるもの果樹類の落果等の被害は相當に達する模様である

今年始めての

大雨と判る

第二校の雨量計

平第二小學校は昨日廿四日午後七時より今朝七時までの豪雨を校内の雨量計で衡つた結果降雨量一〇三、五耗を示し今年初めての大雨である

唯野署長

送別會開催

既報今回平稅務署長から郡山署長に榮轉した唯野喜八氏の爲め青沼平町長其他發起となり來る廿九日午後五時から住吉屋本店に送別會を催すと

豪雨を冒し

會員參集

昨日の同窓會

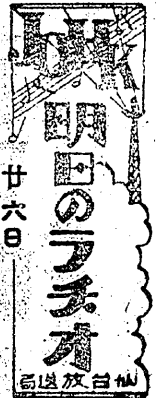
平第一小學校の同窓會は昨日廿五日午後一時より同校講堂に開催されたが折柄の豪雨を冒して全員約百餘名參集、舊職員三十餘名出席し、宍戸性源寺住職により物故舊職員五十餘柱の慰靈祭を執行小野金次郎氏數氏の回顧談等あり盛況裡に午後四時閉會した

愛國號に

參圓献納

小名濱兒童

小名濱町小學校尋常六年四組兒童は海軍機愛國兒童號



明日の天気
東日も南東の風
強天氣次第に良くなる

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
「童謡と唱歌」福島縣石城郡湯本小學校兒童 宮城縣白石小學校兒童
後六、二五 基礎英語講座
岡倉由三郎
後七、三〇 講演(京都)
「法隆寺伽藍金堂の壁畫」
建造資金として廿一日海軍省に金參圓献納の手續をなしたが之は數ヶ月前より銀紙や紙屑を拾ひ集めて賣り

平町出身一等兵が

御仁慈に感激して

忠誠報國を誓ひ奉る

御懇篤な御いたわり

歩兵第三十一聯隊大隊長秩父宮殿下の御仁慈に感激する平町出身及川一等兵、この物語は秩父大隊長宮殿下の御統率遊ばされる第九中隊一等兵及川浩吉君は去る七月下旬より胸膜炎のため弘前衛戍病院に入院加療中であつたが十四日全治退院と同時に疾病除隊となつた處秩父宮殿下にはこれをお聴き遊ばされ長くも及川君を隊長室に御召遊ばされ御懇篤な御いたわりの御言葉を賜つた上假御殿に御歸り遊ばされて後及川君に對し御見舞の御菓

待合室で

手荷物紛失

天地の女給

電話中に

平町三丁目カフエー天地女給高橋キヨ(三)は去る廿三日午後四時頃郡山驛待合室に錦紗の單衣ハンドバッグ其他を包んだ風呂敷を置いて公衆電話を掛けて居るうち何者にか窃取された

後八、五五 浪花節「流れ旅佐渡ヶ島」末廣友吉
後九、三〇 時報「ニュー」氣象通報 番組豫告
明日の部
前六、三〇 基礎ドイツ語講座 武内大造
前七、〇〇 朝の修養「山鹿素行の人物と教訓」井上哲次郎
前八、二〇 婦人の時間「生活と美術」和田三造
後九、〇〇 琵琶「獨眼龍」草名道達
後二、〇〇 小學生尋常四の時間「理科」東京科學

ドモ會
後二、四〇 尋五の時間「國語」田中賢司他
後三、一〇 六大學野球リーグ明帝戦 神宮球場
後六、〇〇 子供の時間 童話劇「孝女沈清」青邱子供サークル
後六、二五 講演「海軍軍縮問題の推移並に所感」有馬寛
後七、三〇 講演「世界の石油資源」伊木常誠
後八、二〇 管絃樂 大阪放送交響樂團
後九、一〇 ラヂオ小説「藪人形の聲」澤村田之助

磐女宿題陳列

磐城高等女學校では今廿五日生徒の夏中宿題清書及び選舉肅正清書等を校内に陳列した

時局講演出席

平第一、千葉平第二、西山小名濱の三小學校長は來る廿七日より二日間山形市で開催の陸海兩省主催の時局大講演會へ出席する

又も秋刀魚大漁

漁場は金華山の沖合

金華山沖合の秋刀魚漁場に出勤せる指導船磐城丸から昨日小名濱水産試験場に入つた無電報告に依ると目下の漁場は金華山沖合北東北に六十哩乃至三百哩の地点で江名漁船清勝丸盛厚丸はいづれも二十萬尾漁獲し釜石港に水揚すべく航行中であるが指導船磐城丸も廿三日迄に十二萬尾の漁獲を揚げたと

平職界紹介所報告

- △人を求める方
- △粕ヶ 二十六才 月十圓
- △蒲鉾製造見習 十八才
- △尋卒 月五十六圓外仕着
- △農夫 五十迄 月六圓
- △保險外交員 尋卒外面談
- △回職を求むる方
- △牛乳配達 十六才 高卒
- △料理人 二十八才 尋卒
- △女中 二十才 高卒
- △旅館女中 二十五才 高卒
- △印刷見習 二十才 高卒



明治太平記

(上巻及上巻)
(作) 寺田桂史
(監) 寺田桂史

第二百三十四回

開化の鬼 (十三)

バルコニーを、立去らうとするおとわを、ウエルズは眼で追ふて

「そのまゝ、わたくしを逃げるのではないですね」

「いえ、あんなさへ、あたしを可愛がつてくださるなら、きつと、あの一ひとを殺してくださいませわね」

そのまゝ、バルコニーをあとに廊下へ出た。踏舞室で待つてゐるだらうパークスのところへいそいだ。

と、そのとき、廊下で八字ヒゲの紳士とすれちがつたが、その見知らぬ紳士は低聲で呼びとめた。

「小貴婦人」

「きよつとして、立どまつてしまつた。」

「今宵こそ、大事ですぞ」

「え？何と、仰しやいますか？」

紳士の一言が、餘りにも意外だつたので、おとわは軽卒にも、おもはず聞き返してしまつた。

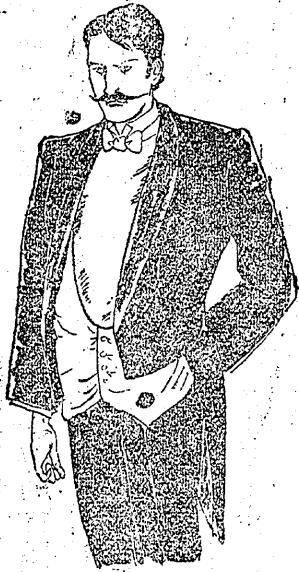
「法度の、かたきうちだ。不覺をとらぬやうに」

「は、はい」

「ポケットの、ナイフ、鏢

付いてをらぬな」
「紅毛ふたりを、かたきと狙つて、捨身でやるのだ。よいか、わかつたのう」
そのまゝ、八字ヒゲの見知らぬ紳士は、すん／＼歩いてゆく。

道のりのあひだに、大それた仕事をしなければならぬので、もう悲壯な、寒い感情に、五體の硬直するのを覺えてをる。
はやく、ウエルズが……そして大志賀が、現れてくれなければ、せつかくの好機を逸してしまふ。ホテル館へは、もう、いくばくも無い。おとわは、焦燥と不安を押鎮めるために、いくたびか腰のポケットへ手をやつた。
だが、パークスは、餘りにもものんびりしてをる。こ



「もし、あなたさまは？」
「……よいわ」
紳士は、行過ぎてしまつた。

延達館からホテル館へは馬車で歸るほどのこともないのでパークスとおとわは肩をならべて歩いてゆく。おとわは、このわづかの

の短距離の道を、たのしい新婚旅行でもしてゐるやうに、ゆつたりと、少しでも長く、味はひ楽しもうといふのだ。
「日本人が、英國の統治の下に、幸福な生活をいなむやうになる前に、わたくしは、日本政府にこの築

地一帯に國際的オランダ市場を計劃せんことを進言するね」
こゝろ朗かなときの、パークスの癖だ。このたぐましい、征服者の空想を獨語するのだつた。
「新島原は、その一部を實現したことになるが、あれだけでは、長崎の丸山、京都の島原、東京の吉原を模倣したに過ぎんもつと國際的に多彩に、華やかに、妖艶に、英國植民地としての貫祿を……ハッ、ハッ、ハッ、

……」
こゝまで獨言した、彼は聲をあげて笑つた。
「だんなさま」
ホテル館を間近にして、おとわの足は、いよ／＼溢つた。
「何か、それに對する註文があるかね」
パークスは、自分の空想に追隨するものとして、おとわをかへりみた。
「いえ、だんなさまは、日本人の敵討をどのやうに解釋なさいますか」

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は○の生命なり

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會

平町田町六九 電話一二七番

吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番

醫學士 吉田久雄

御料理 折詰

仕出し

松茸料理を

始めました

平ニ警察署通り

魚清食堂

電話六三三



毎度有難う存じます

レストラン 平層館

電話624

味覺の秋を楽しみ得る

香氣の高い 松茸

料理を始めました

出前 迅速 錦水

電話四五四